

大建収 954-1 号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

三重県多気郡大台町長 尾 上 武 義



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記について、
別紙の通り回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

三重県大台町

生活道路としての地方道整備は緊急の課題であるが、道路財源は縮減、縮小の一途の状況となってきた。とりわけ、地方の自治体における道路財源確保は喫緊の課題となっている。そのようなことから道路の形態を地域事情を考慮し、例えば、車線と歩道は1.5m程度、あるいは車道1.5車線などとし道路規格の緩和を図ることにより、事業の更なる進捗が期待され、また経費的負担が結果的には軽くなるものとする。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

三重県大台町

○現状

本町は、町を東西に縦貫する一級河川・宮川の兩岸に国道、県道、町道が平行して走り、これを24の橋が結び道路網を構成しています。広域的な幹線道路である国道42号、町内の幹線道路である国道422号を始め、重要な生活道路として多くの県道、町道があります。

道路は、私たちの生活の営みに欠かせないものですが、町内には狭隘な箇所も多くあり、安全な通行に支障を及ぼしています。災害発生時のライフラインの一つとして重要な役割を果たすこととなりますが、このような地形上、非常時の迂回ルートとしての整備はまだまだ十分とは言えないのが現状です。

○課題

特に、宮川地域において、平成16年9月の集中豪雨災害により唯一の生活道路であった国道422号が決壊し、大杉谷地域が孤立しました。近年頻発している災害等において、命を繋ぐことの出来る道路の整備促進を図ることが重要です。

また、B/Cにおける費用対効果を優先するあまり、中山間地域の道路整備が遅れ、結果的には少子高齢化が進み限界集落の発生にも繋がってきています。

道路は地域の暮らしを支える基本的な社会資本です。産業、経済、文化などの圏域間での交流や連携、地域の活性化、さらには、観光資源の提供、また、災害時等における緊急輸送路としても大きな役割を担っています。このように中山間地域における町づくりには道路の整備が重要課題となっています。

日々の暮らしの移動手段はそのほとんどが自動車に頼っている現状の中において、生活道路、ライフラインの確保を優先的に整備するとともに、道路ネットワークの安全性・利便性の向上を図ることにより、地域経済の発展を促し、豊かで住民が安心して暮らせる町づくりを目指したい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

三重県大台町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等
・ 命を繋ぐ道路網の整備	・ 国道４２２号（八知山トンネル）の早期完成（大台町滝谷地内）。 ・ 未開通区間の県代行による町道新大杉谷線の早期開通。（大台町岩井地内）	この２路線は宮川右岸側を町道新大杉谷線、左岸側を国道４２２号が走っています。 しかしこの２路線とも一部未開通であったり、長期間通行止めを行なっています、このため大杉地区への連絡は宮川に架かる一箇所の橋に頼っているのが現状です。２路線が整備されますと、災害等で大杉地域が孤立してしまうようなことが少なくなり緊急輸送道路としての機能も発揮され住民の安全安心な生活が確保されるものと期待しています。